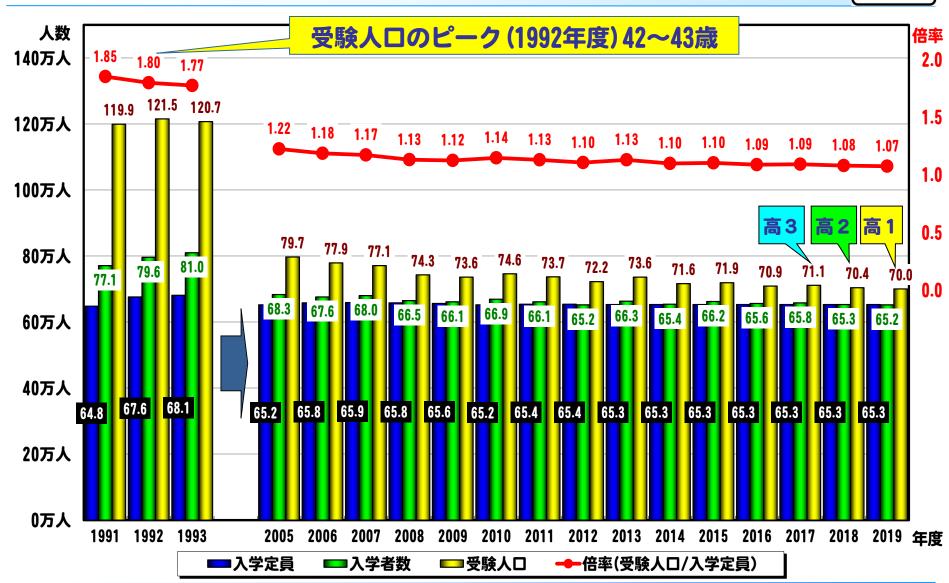


第1部

験台予備学校の データに基づく 2016年度入試結果

受験人口と大学入学定員推移(1991~2019年度)





3 CONTENTS



2016年度入試結果分析

PART1 大学入試センター試験 PART2 国公立大学 PART3 私立大学

PART4 これからの大学入試

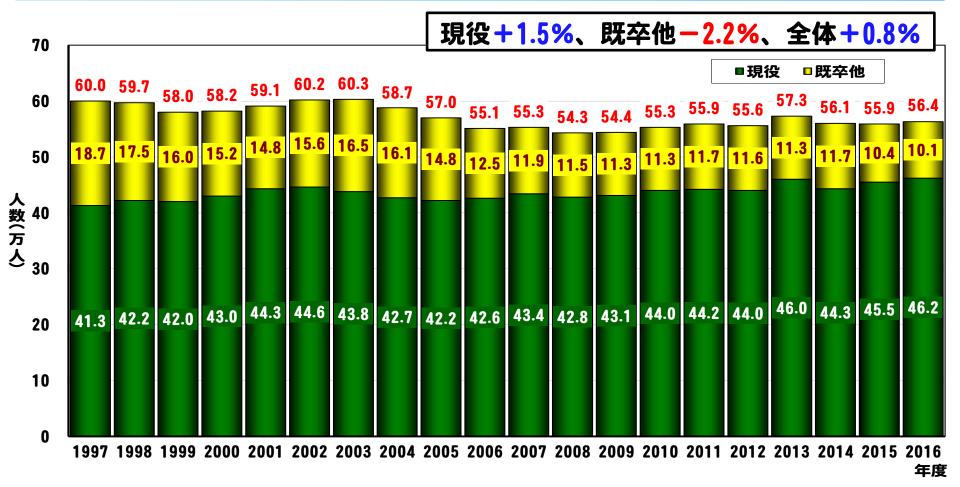


第1部 駿台予備学校のデータに基づく2016年度入試結果

PART 1 2016年度 入試結果分析 (大学入試センター)

大学入試センター試験 確定志願者数推移(1997~2016年度)





563,765人(+4,633人)〈現役 462,332人(+6,940人)、既卒他 101,433人(-2,307人)〉

- ●現役占有率 82.0%(過去最高)
 ●現役志願率 43.4%(過去最高)
- ●センター試験参加大学:4年制大学693大学+短期大学157大学=合計850大学(過去最高)

2016年度

大学入試センター試験 志願状況



- ■確定志願者数 563,768人(+4,636人:+0.8%)
 - 現 役 増加 462,335人(+6,943人:+1.5%)
 - 既卒等 減少 101,433人〈-2,307人:-2.2%〉
- 現役志願率・女子占有率→過去最高を更新
 - 全志願者に占める現役生の割合
 (2016)82.0% ← (2015)81.4% ← (2014)79.1% ← (2013)80.2%
 - 現役志願率(高校卒業者総数に対する現役志願者の割合) (2016)43.4%←(2015)42.5%←(2014)42.1%←(2013)42.1%
 - 女子占有率 (2016)44.3% ← (2015)43.9% ← (2014)43.5% ← (2013)43.5%
 - 増減した都道府県

増加…東京+1,447人、埼玉+951人、神奈川+792人、大阪+363人 など 減少…静岡-371人、奈良-226人、富山-177人、山形-164人、沖縄-162人 など

2016年度大学入試センター試験主要科目平均点一覧

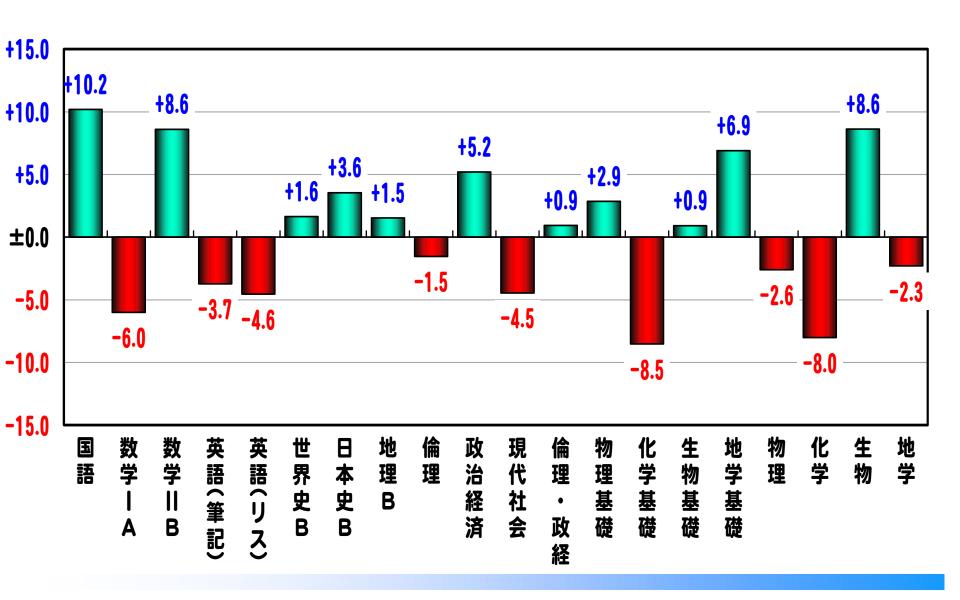
駿台 SUNDAI

教科	科目		平均	差	
子文十十			2016年度	2015年度	(16-15)
国語	国語		129.4	119.2	+10.2
***	数学①	数学丨·数学A	55.3	61.3	-6.0
数学	数学②	数学川·数学B	47.9	39.3	+8.6
서 EPES	英語(筆	言2)	112.4	116.2	-3.7
外国語	英語(リ	スニング)	30.8	35.4	-4.6
地理 歴史	世界史E	3	67.3	65.6	+1.6
	日本史E	3	65.6	62.0	+3.6
	地理B		60.1	58.6	+1.5
公民	倫理		51.8	53.4	-1.5
	政治・経	済	60.0	54.8	+5.2
	現代社会	\(\)	54.5	59.0	-4.5
	倫理、政	<u>治·経済</u>	60.5	59.6	+0.9
理科	理科①	物理基礎	34.4	31.5	+2.9
		化学基礎	26.8	35.3	-8.5
		生物基礎	27.6	26.7	+0.9
		地学基礎	33.9	27.0	+6.9
	理科②	物理	61.7	64.3	-2.6
		化学	54.5	62.5	-8.0
		生物	63.6	55.0	+8.6
		地学	38.6	40.9	-2.3

- ※大学入試センター発表の最終集計です。
- ※平均点は少数第2位を四捨五入しています。
- ※差は四捨五入の関係で0.1の誤差がある場合があります。

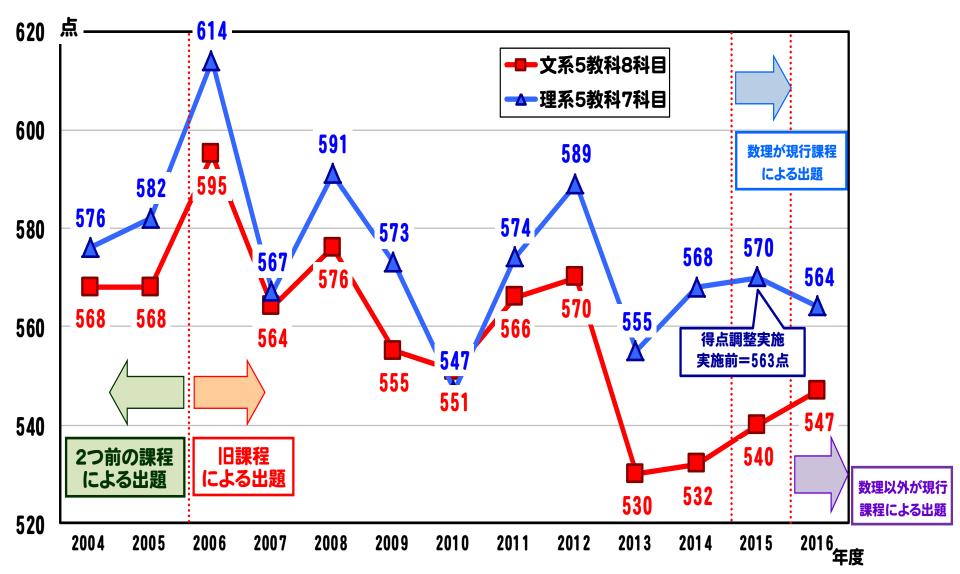
2016年度 大学入試センター試験 主要科目平均点差(2016年度-2015年度)





大学入試センター試験 5教科7科目く900点満点〉予想平均点推移



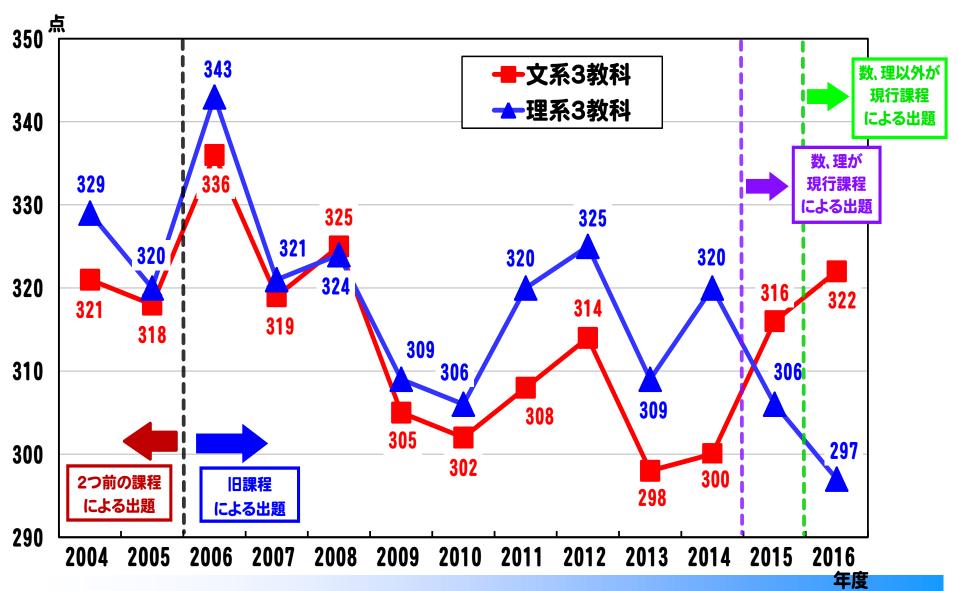


[※]駿台・ベネッセによるセンター試験自己採点集計「データネット」で推定した900点満点での予想平均点

[※]英語は、筆記200点とリスニング50点をあわせた250点を200点満点に換算

大学入試センター試験 データネット 3教科く500点満点〉平均点推移





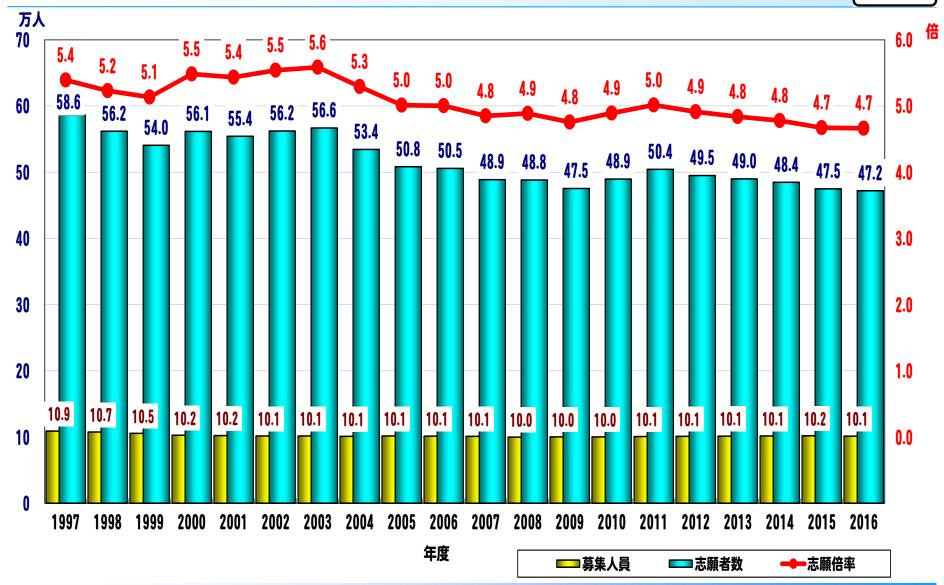


第1部 駿台予備学校のデータに基づく2016年度入試結果

PART2 2016年度 入試結果分析 (国公立大学)

国公立大学 一般選抜確定志願者数推移(1997~2016年度)





一般選抜(個別試験)志願状況について①



- ■一般選抜志願者数
 - 471,644人〈-2,902人:-0.6%〉
 - ●5年連続減少
 - ●国立大学減少〈-5,714人:-1.7%〉
 - ●公立大学増加 〈+2,812人:+2.2%〉
 - ●国立大学は前期・後期とも減少、公立大学はいずれの 日程でも増加と対照的な志願状況
- ■一般選抜志願倍率
 - 4.66倍 (一0.01ポイント)
 - ●前期 3.23倍〈アップダウンなし〉
 - ●後期 9.67倍 〈-0.04ポイント〉
 - ●中期 13.96倍 (+0.54ポイント)

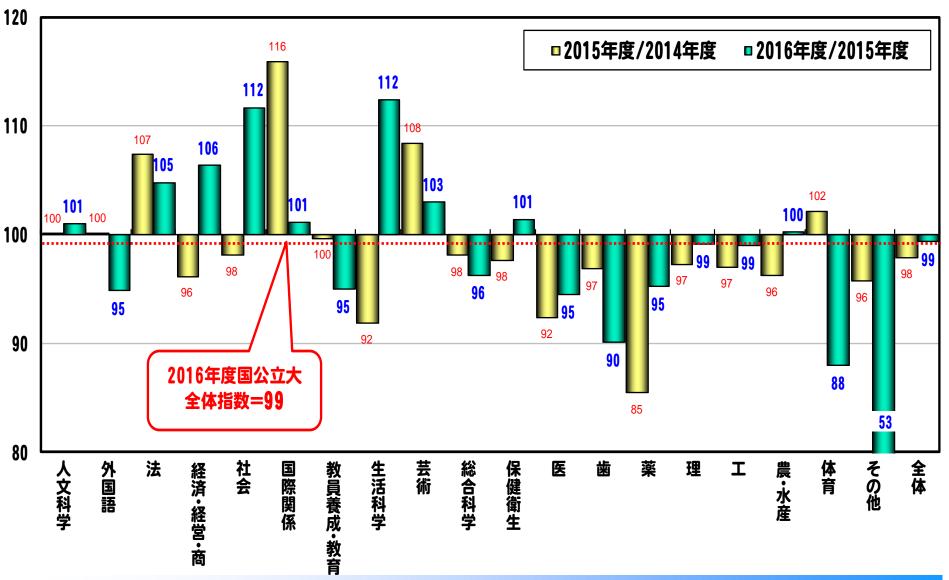


■志願者数減少の背景

- ①「文低理高」の沈静化
 - センター試験の理科②の負担の重さから、文理選択の段階で 文系を選択した受験生が増加。
 - 国公立大学の募集人員は、文系より理系(メディカル系含む)の方が多いため、理系受験生の減少が全体の志願者数に影響。
- ② 理系のセンター試験平均点ダウン
 - 主に理系が受験した理科②は、選択者が多い化学、 物理の平均点がダウンした影響。さらに、英語が筆 記、リスニングともにダウンしたことも影響。
 - ⇒国公立大学への出願を断念した理系受験生も。

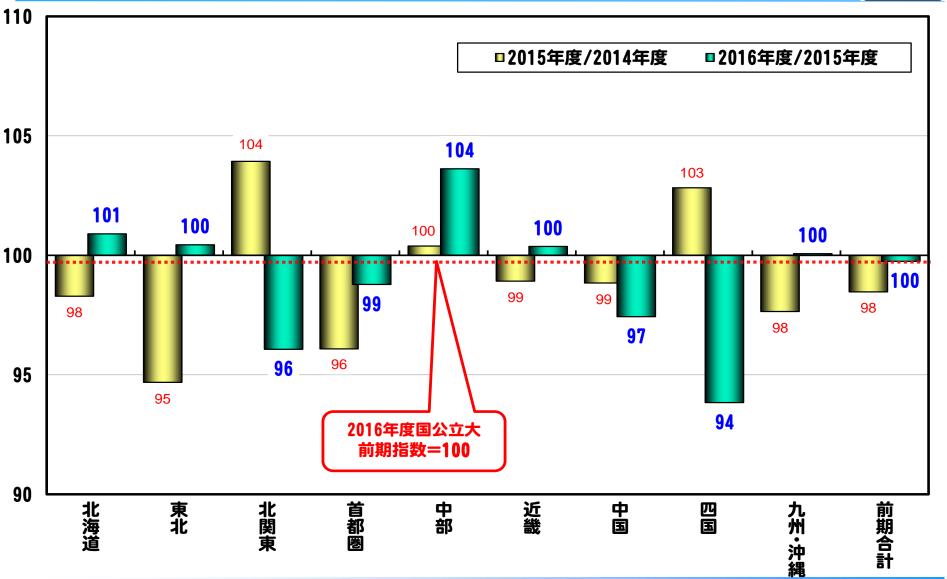
系統別 志願状況





2016/2015年度入試 国公立大学 地区別 志願状況(前期)

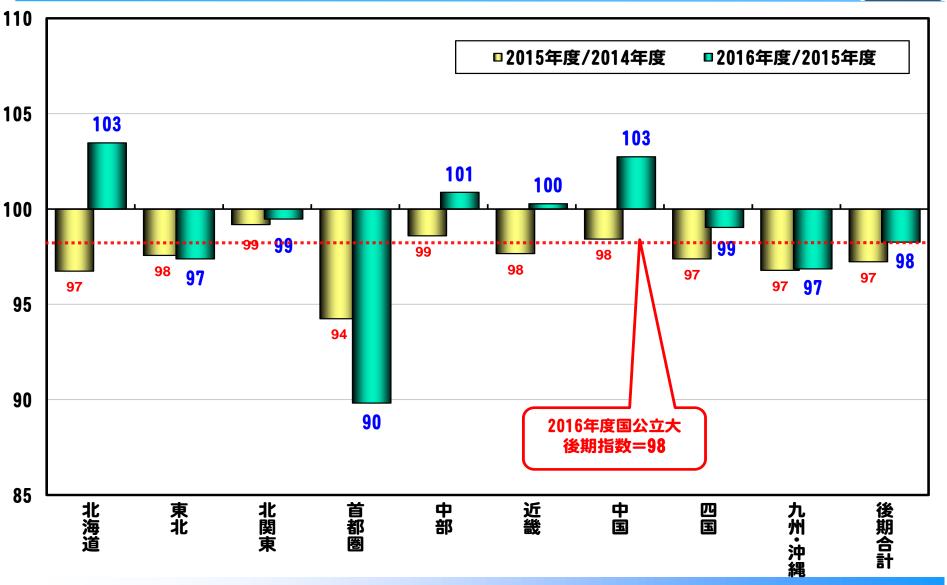




※文部科学省発表 最終確定値。前年度を100とする指数

2016/2015年度入試 国公立大学 地区別 志願状況〈後期〉



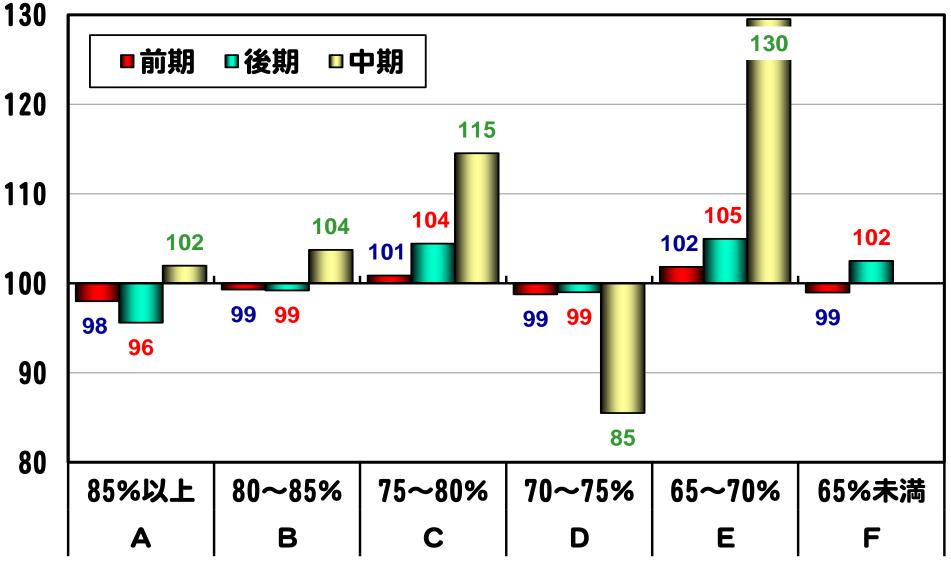


※文部科学省発表 最終確定値。前年度を100とする指数



国公立大学 センター試験目標得点別 志願状況

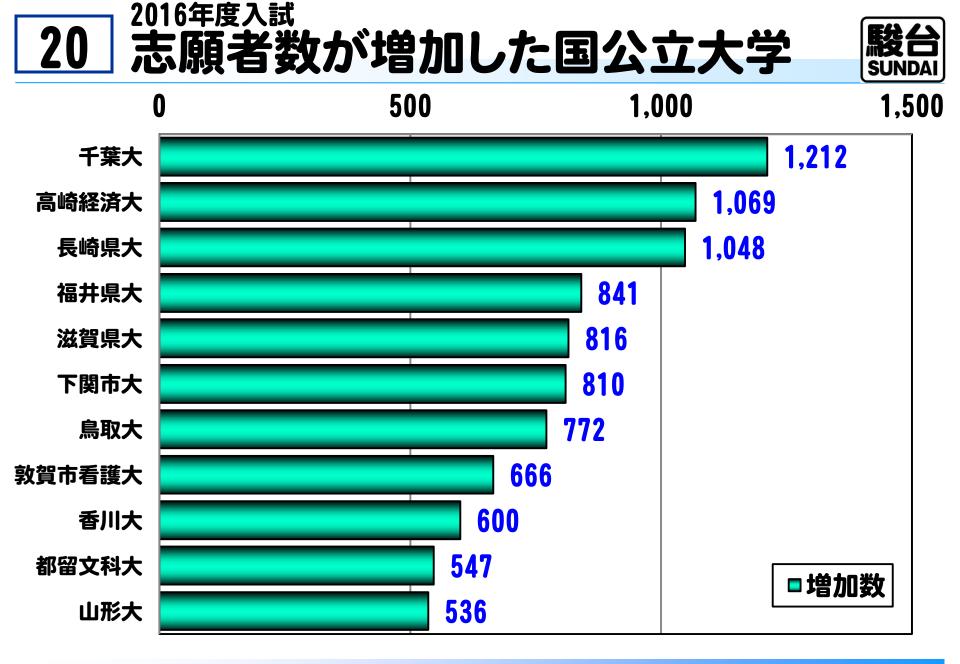


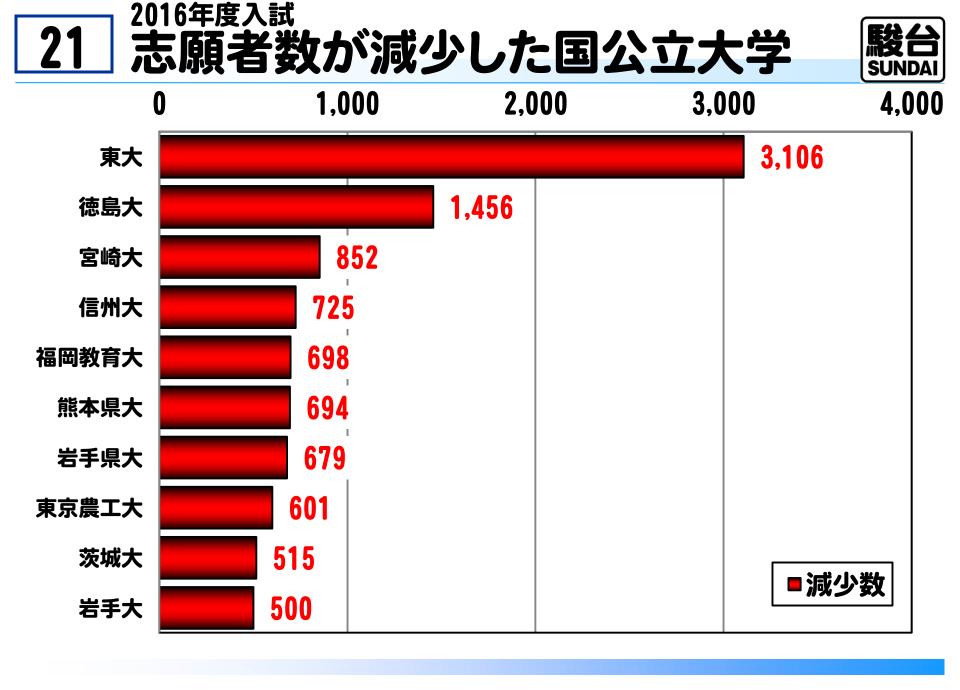


2016年度入試 **志願者数の多い国公立大学**



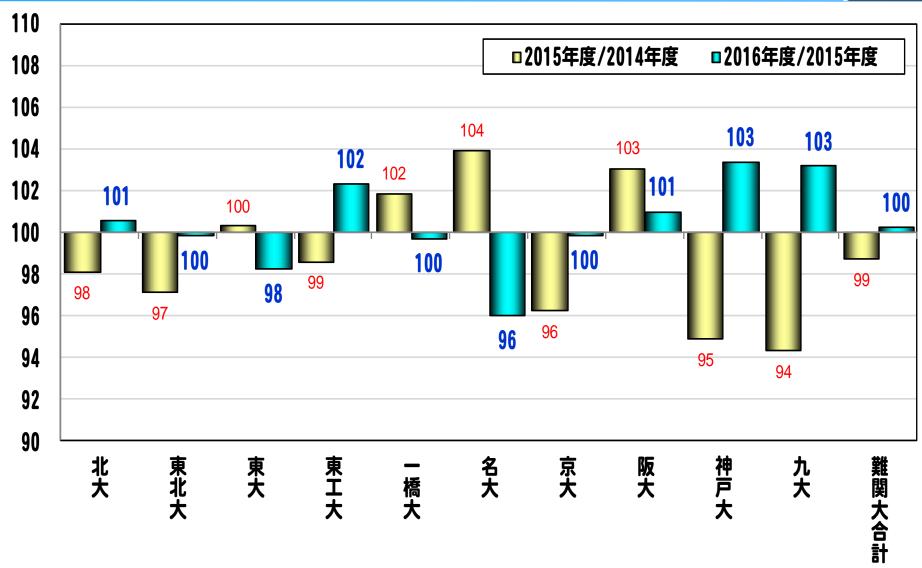
	2016年度			2015年年度			
大学名	募集 人員	志願 者数	志願 倍率	募集 人員	志願 者数	志願 倍率	増減
千葉大	2,145	11,357	5.3 倍	2,089	10,145	4.9 倍	1,212
大阪大	3,180	10,434	3.3 倍	3,180	10,327	3.2 倍	107
北海道大	2,426	9,919	4.1 倍	2,430	9,834	4.0 倍	85
神戸大	2,307	9,889	4.3 倍	2,317	9,986	4.3 倍	-97
東京大	2,960	9,278	3.1 倍	3,063	12,384	4.0 倍	-3,106
首都大学東京	1,248	8,481	6.8 倍	1,248	8,223	6.6 倍	258
大阪府立大	1,130	8,439	7.5 倍	1,127	8,526	7.6 倍	-87
京都大	2,758	8,353	3.0 倍	2,846	8,041	2.8 倍	312
高崎経済大	680	7,840	11.5 倍	680	6,771	10.0 倍	1,069
横浜国立大	1,483	7,839	5.3 倍	1,483	8,154	5.5 倍	-315
富山大	1,414	7,771	5.5 倍	1,408	7,822	5.6 倍	-51
九州大	2,360	7,739	3.3 倍	2,360	7,652	3.2 倍	87





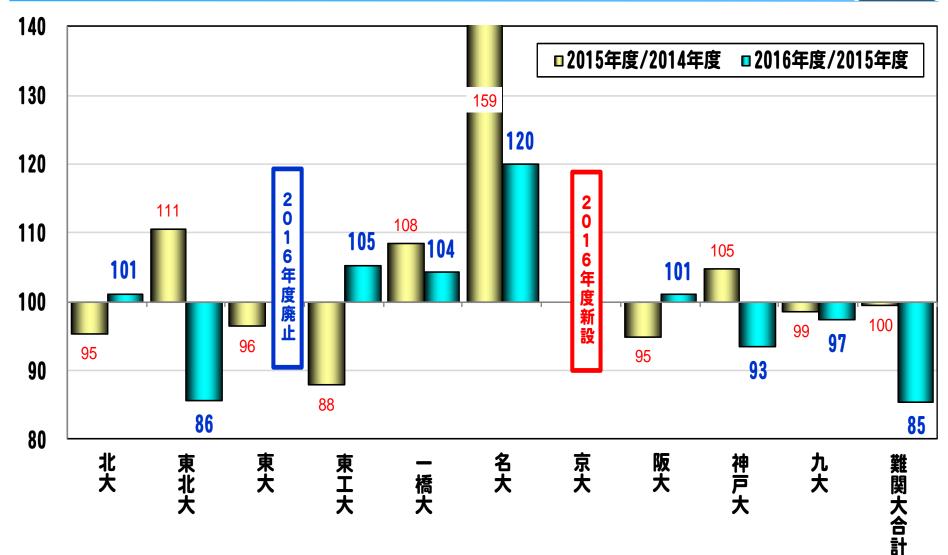
2016/2015年度入試 難関国立10大学 志願状況(前期)





2016/2015年度入試 難関国立10大学 志願状況(後期)







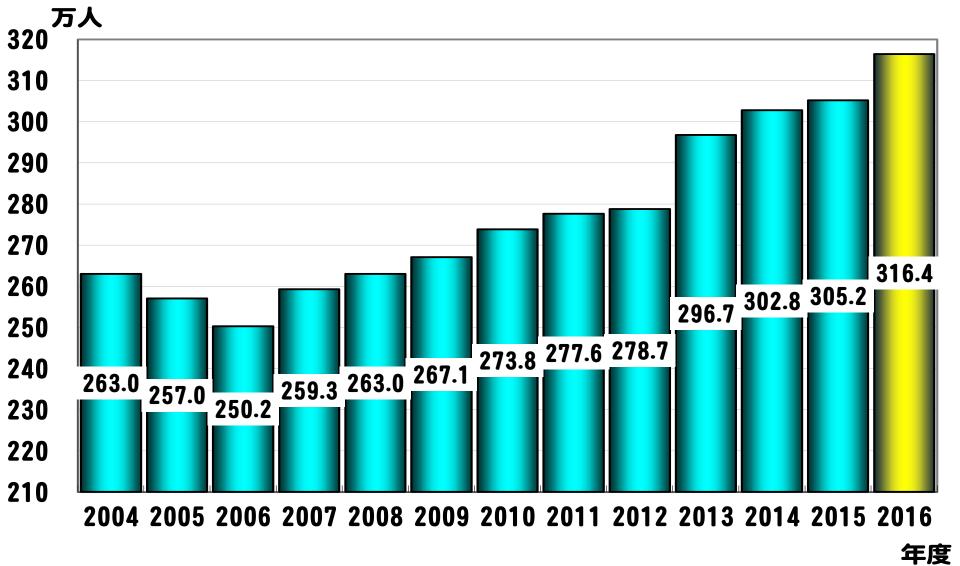
第1部 駿台予備学校のデータに基づく2016年度入試結果

PART3 2016年度 入試結果分析 (私立大学)



私立大学 一般選抜確定志願者数推移(2001年度~2016年度)





※2015年度までは文部科学省発表値、2016年度は502大学集計による駿台推定値

一般選抜志願者数·合格者数状況



- ■一般選抜志願者数
 - ●502大学集計 前年度比 全体 +3.7% (文系 +5.5%、理系 +0.8%)
 - ●最終志願者数(予想) 316.6万人〈2015年度=305.2万人〉 ※10年連続増加
 - ●一般方式 〈前年度比 +4.3%〉
 - ●センター利用方式〈前年度比 +2.3%〉
- ■一般選抜合格者数
 - ●497大学集計 前年度比 全体 +1.1% (文系 -0.4%、 理系 +2.6%)

2016年度 私立大学

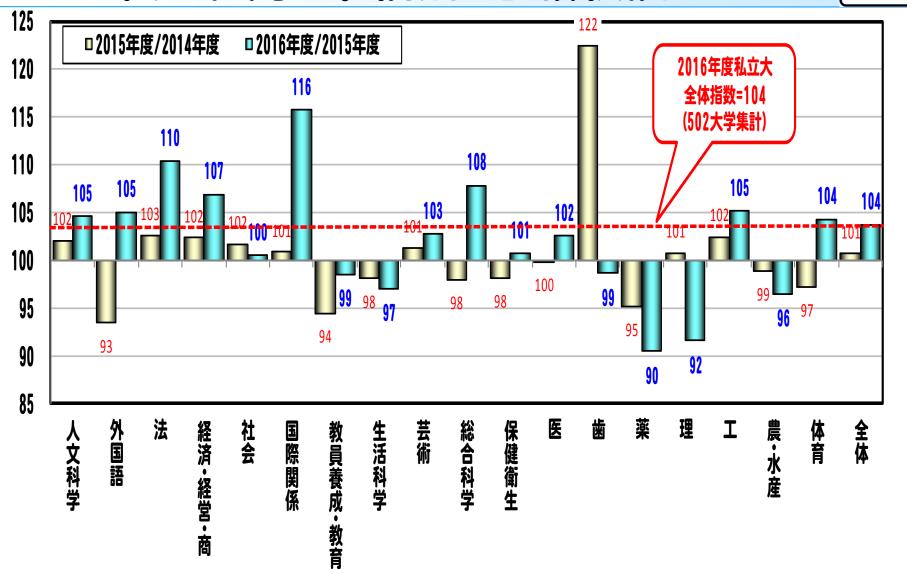
一般選抜志願状況について



- ■志願者数増加の背景
 - ①入試改革、入試方式の複線化・多様化の一層の拡大
 - インターネット出願
 - 受験料割引
 - 全学部日程拡大や英語外部試験利用方式など、入試方式 の複線化がさらに進む
 - ②学部・学科の新増設・改組⇒入学定員の増加
 - ③ 文系の人気回復
 - ◆ 大規模私立総合大は文系の募集人員が多い⇒志願者数増加に直結
 - ④ 国公立大の科目負担への不安・敬遠傾向
 - ●理科を中心に、センター試験の負担が旧課程に比べて重いことへの不安から、私立大併願校数が増加
 - 東大後期廃止に伴う成績上位層の難関私立大の併願校数 増加
 - 成績中下位層では都市部では私立大専願の動き

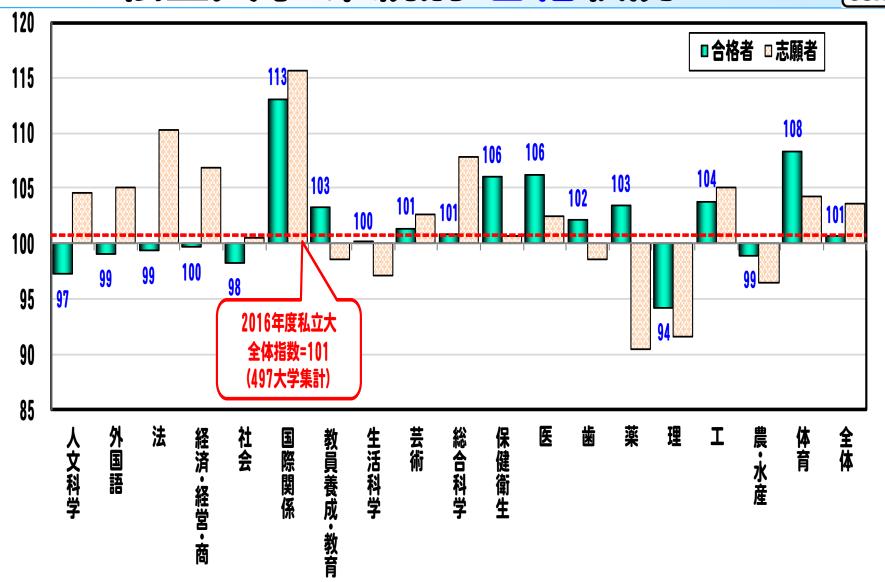
2016年度入試 私立大学 系統別 志願状況





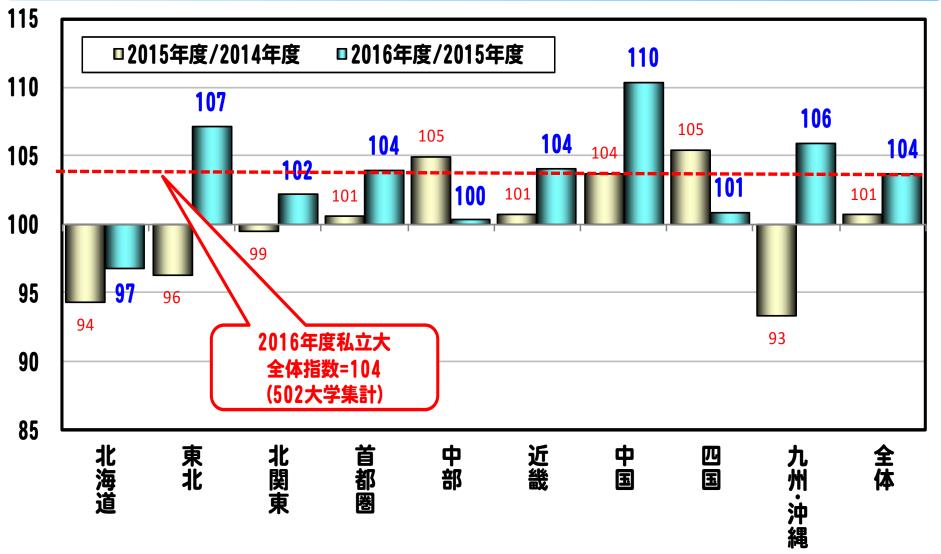
2016年度入試 私立大学 系統別 合格状況





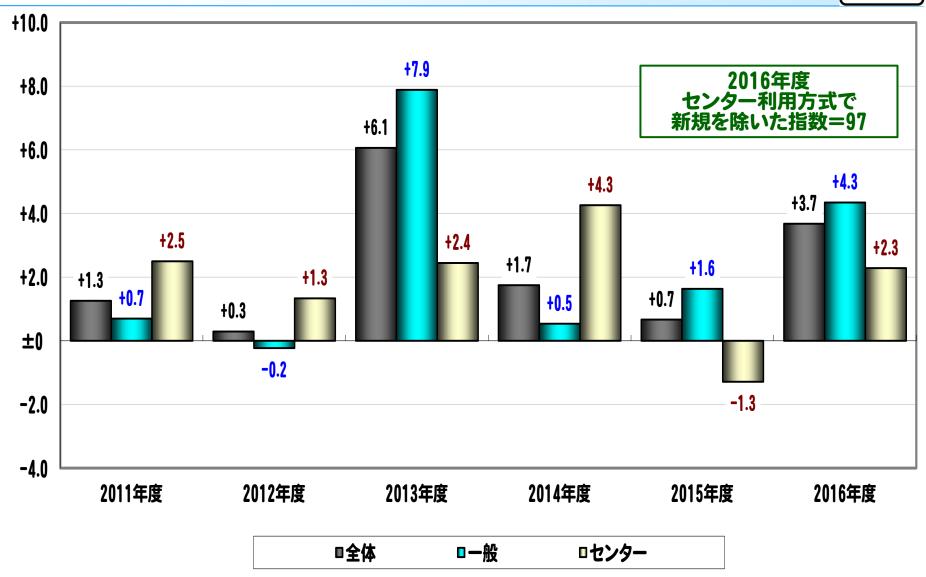
2016/2015年度入試 私立大学 地区別 志願状況





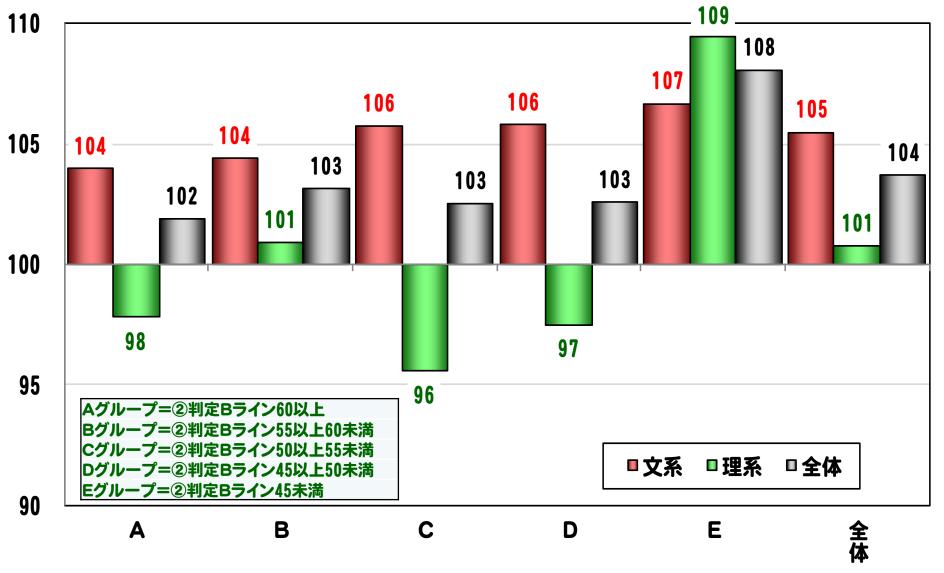
2016年度入試~2011年度入試 私立大学 方式別 志願状況





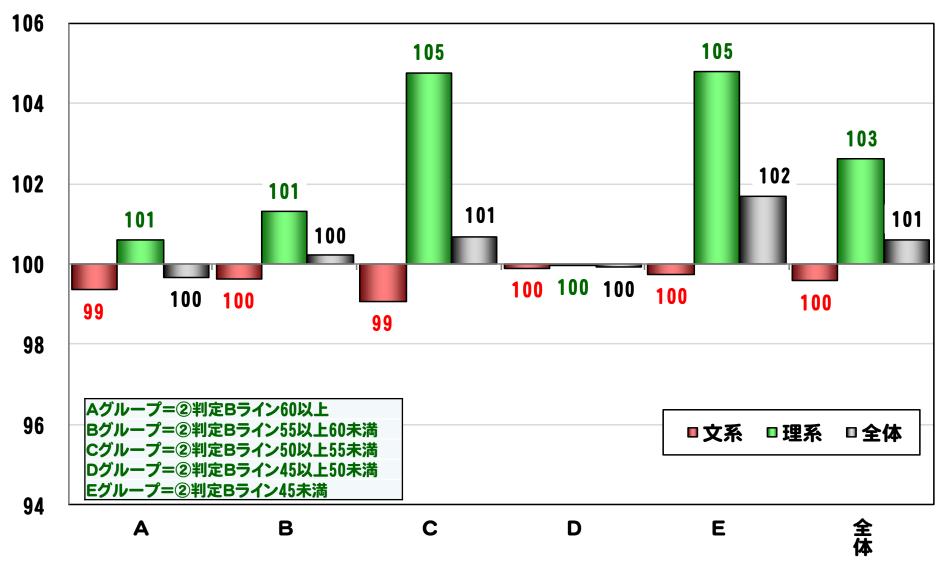
2016年度入試 **私立大学 模試合格ライン別 志願状況**





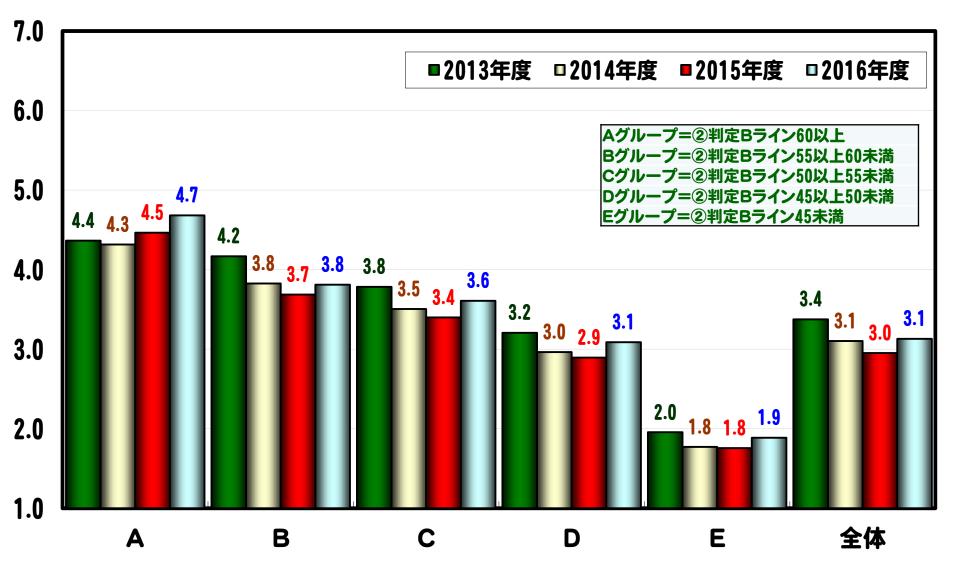
2016年度入試 **私立大学 模試合格ライン別 合格状況**





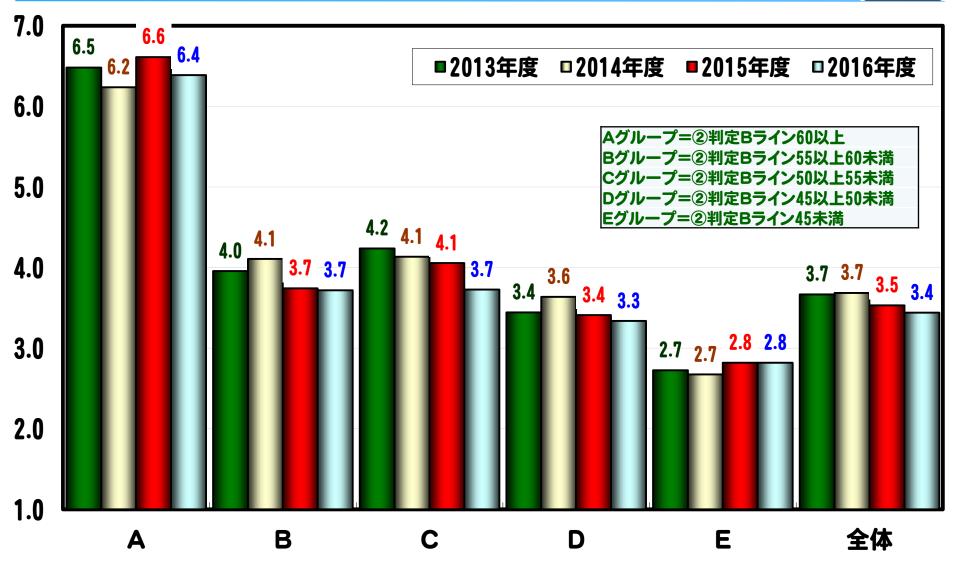
2016年度入試~2011年度入試 私立大学 模試判定ライン別 実質倍率推移〈文系〉





2016年度入試~2011年度入試 私立大学 模試判定ライン別 実質倍率推移〈理系〉





2016年度入試 志願者数の多い私立大学

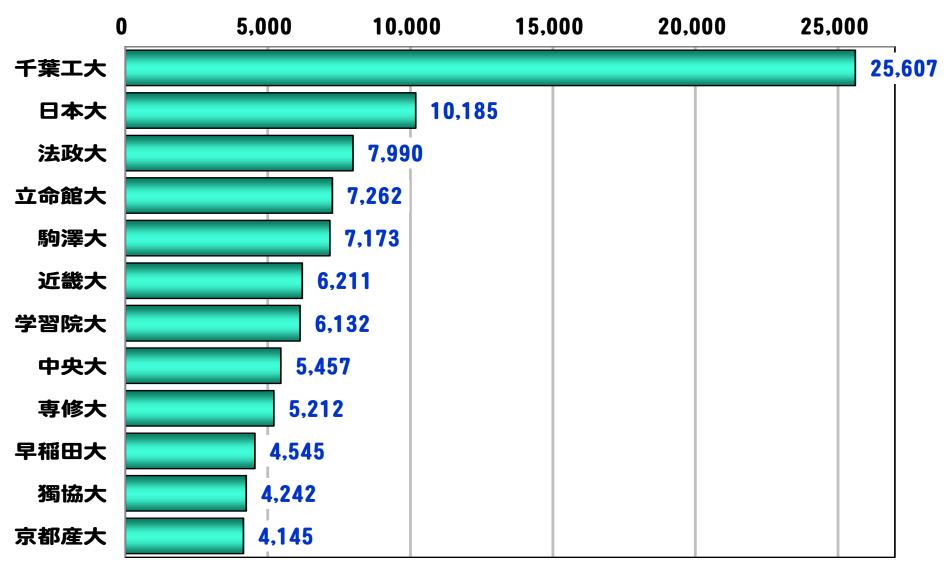


	志願者数				
大学	2016年度	2015年度	増減		
近畿大	119,915	113,704	+6,211		
明治大	108,500	105,702	+2,798		
早稲田大	108,039	103,494	+4,545		
日本大	104,558	94,373	+10,185		
法政大	101,976	93,986	+7,990		
立命館大	94,930	87,668	+7,262		
東洋大	84,886	83,546	+1,340		
関西大	82,592	82,941	-349		
千葉工業大	76,495	50,888	+25,607		
中央大	75,275	69,818	+5,457		
立教大	60,693	66,351	-5,658		
青山学院大	59,850	59,738	+112		
東京理科大	51,404	52,108	-704		
同志社大	50,147	49,369	+778		



2016年度入試 志願者数が増加した私立大学

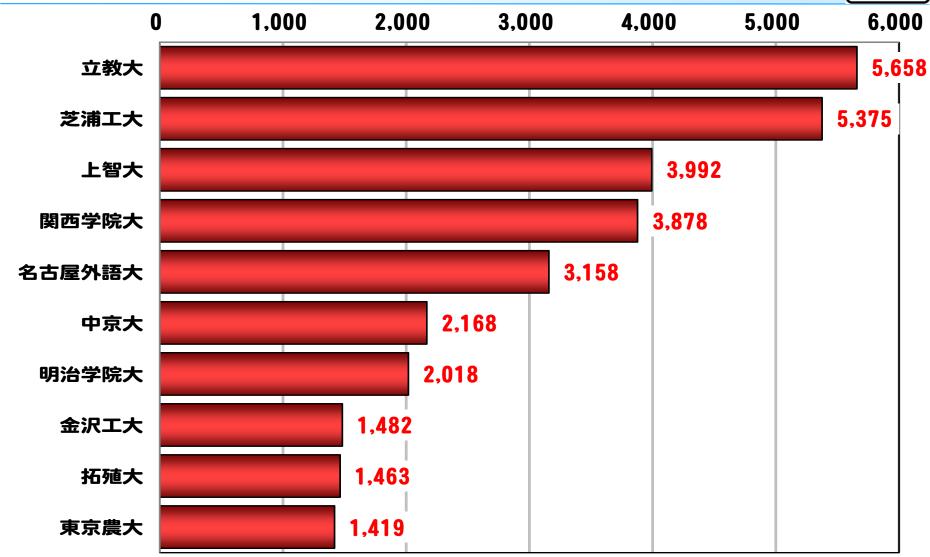






2016年度入試 志願者数が減少した私立大学





主要私立22大学志願状況(2014~2016年度)

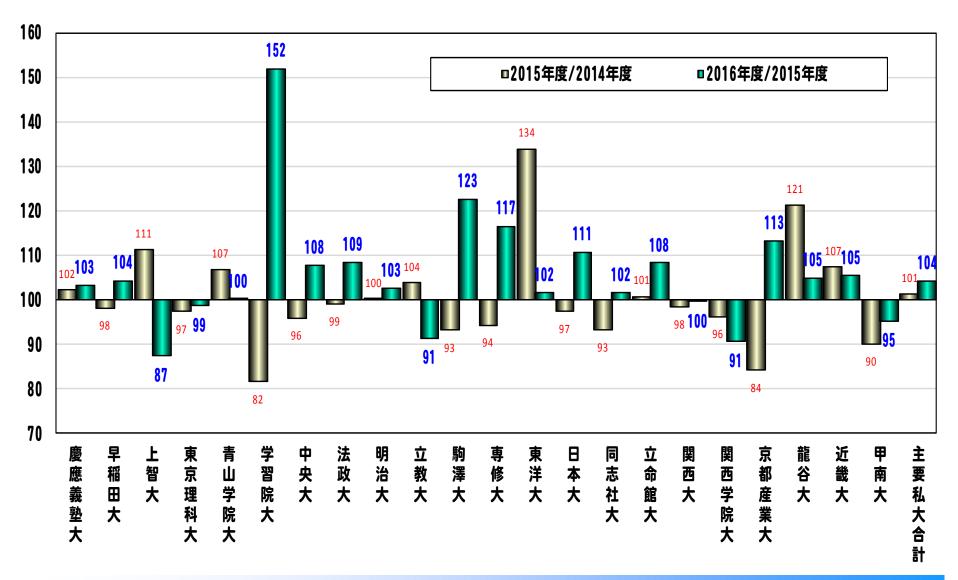


大 学		志願者数			志願者指数		
	2016年度 最終確定数	2015年度 最終確定数	2014年度 最終確定値	増減数 (2016年度 -2015年度)	2016年度 /2015年度	2015年度 /2014年度	
慶應義塾大	44,797	43,352	42,398	+1,445	103	102	
早稲田大	108,039	103,494	105,424	+4,545	104	98	
上智大	27,748	31,740	28,523	-3,992	87	111	
東京理科大	51,404	52,108	53,524	-704	99	97	
青山学院大	59,850	59,738	55,893	+112	100	107	
学習院大	17,930	11,798	14,453	+6,132	152	82	
中央大	75,275	69,818	72,725	+5,457	108	96	
法政大	101,976	93,986	94,808	+7,990	109	99	
明治大	108,500	105,702	105,512	+2,798	103	100	
立教大	60,693	66,351	63,934	-5,658	91	104	
駒澤大	38,748	31,575	33,879	+7,173	123	93	
専修大	36,536	31,324	33,193	+5,212	117	94	
東洋大	84,886	83,546	62,357	+1,340	102	134	
日本大	104,558	94,373	96,839	+10,185	111	97	
同志社大	50,147	49,369	52,944	+778	102	93	
立命館大	94,930	87,668	86,935	+7,262	108	101	
関西大	82,592	82,941	84,248	-349	100	98	
関西学院大	37,622	41,500	43,106	-3,878	91	96	
京都産業大	35,440	31,295	37,184	+4,145	113	84	
龍谷大	47,694	45,410	37,441	+2,284	105	121	
近畿大	119,915	113,704	105,890	+6,211	105	107	
甲南大	17,735	18,615	20,656	-880	95	90	
主要私立22大学	1,407,015	1,349,407	1,331,866	+57,608	104	101	

2016・2015年度 主要私立22大学

一般選抜志願者数 前年度対比指数







第1部 駿台予備学校のデータに基づく2016年度入試結果

これからの大学人試

42 2017年度入試に向けて①



- ■難関国立大の入試改革
 - 2016年度···東大「推薦入試」、京大「特色入試」
 - ○2017年度・・・阪大「世界適塾入試」
- ■グローバル系新設学部
 - 2016年度···千葉大(国際教養)、学習院大(国際社会科学)、 近畿大(国際)
 - ○2017年度···神戸大(国際人間科学)〈仮称〉 南山大(国際教養)設置構想中
- ■英語4技能資格・検定試験利用入試の拡大
 - 2016年度・・・・青山学院大、東洋大、法政大、立教大、 立命館大、関西学院大など
 - 2017年度・・・・学習院大、明治大、早稲田大(文・文化構想)、 関西大/上智大4技能の拡大

2016年度 私立大学 英語外部試験利用入試結果



大学	方式 (学部(学科))	利用試験数	方式合計			大学全体 (利用学部・学科での集計)			大学全体に 占める割合	
			募集 人員	志願 者数	志願 倍率	募集 人員	志願 者数	志願 倍率	募集 人員	志願 者数
獨協大	A方式外部検定試験活用型 (外国語(交流文化)、法、経済、 国際教養)	10	ı	154	-	1,025	14,870	14.5	1	1.0%
青山学院大	学部個別B方式(総合文化政策、 地球社会共生) 学部個別C方式(文(英米文))	1	80	769	9.6	430	8.980	20.9	18.6%	8.6%
国際基督教大	B方式	3	10	73	7.3	300	1,581	5.3	3.3%	4.6%
上智大	TEAP利用型	1	402	4,634	11.5	1,787	27,748	15.5	22.5%	16.7%
法政大	英語外部試験利用 (現代福祉、人間環境、情報科学、 グローバル教養、スポーツ健康、 生命科学)	5	35	430	12.3	845	20,565	24.3	4.1%	2.1%
立教大	全学部グローバル	6	131	374	2.9	2,926	60,693	20.7	4.5%	0.6%
立命館大	IR方式英語資格試験利用型 (国際関係)	4	25	195	7.8	144	2,920	20.3	17.4%	6.7%
関西学院大	センター利用1月英語検定試験 活用型	8	-	-	_	3,332	37.622	11.3	1	_

2017年度新規実施 ⇒ 学習院大(国際社会科学)、明治大(経営)、 早稲田大(文、文化構想)、関西大(文、外国語)

2017年度入試に向けて②



- ■インターネット出願の拡大
 - ○国公立大の導入状況
 - 2016年度・・・お茶の水女子大、豊橋技術科学大、 奈良教育大、広島大、徳島大、鳴門教育大、 香川大、愛媛大、高知大
 - 2017年度・・・京都大、九州大
 - 私立大はすでに約3割が導入済み(早慶大も導入へ!)
 - 検定料の支払い方法をATMや電子マネーに制限する場合には、受験生(保護者)への周知徹底を
 - 受験生や保護者には、早めに各大学のサイトにアクセスさせて、うまく動作するかを確認させることが大事

2017年度入試に向けて③



■ 私学助成が全学不交付となる入学定員充足率の基準の変更

大学規模	大規模	中規模	小規模
(収容定員)	(8,000人以上)	(4,000人以上、 8000人未満)	(4,000人未満)
2015年度	1.20倍以上	1.30倍以上	1.30倍以上
2016年度	1.17倍以上	1.27倍以上	1.30倍以上
2017年度	1.14倍以上	1.24倍以上	1.30倍以上
2018年度	1.10倍以上	1.20倍以上	1.30倍以上

※2019年度以降、1.0倍を超える入学者数に応じて学生経費額を減額

※2019年度以降、0.95~1.0倍にした大学に私学助成を上乗せ

2016年度入試では、私立大文系の難化傾向が起きたが・・・

今後の大学入試を取り巻く「キーワード」



- 受験生の「二極化」がさらに顕著に
 - ⇒成績上位層=強気な出願、難関大志向(でも最上位は敬遠)、最後まで粘る 成績下位層=「安全」・安易志向、学力不問入試志向、とにかく早く決めたい
- ■「地元志向」の高まり
 - ⇒少子化の影響で、「地方→都市部」の移動が大きく減少 大都市圏間の移動(首都圏⇔関西校など)はむしろ活発化
- 理系志向の沈静化と「文系復活」
 - ⇒理系のセンター試験・理科の負担増(「なんちゃって」理系の減少) 文系大学生の就職状況の好転、ここ数年間続いた「文低理高」の反動
- ■「強い現役生」と「弱い既卒生」
 - ⇒2016年度前期東京大合格者現役占有率

〈難〉文一:75%、理三:82% ⇔ 〈易〉文三:65%、理二:53%

- ■「保護者の意向に従順」な受験生気質
 - ⇒自分で決められない受験生→保護者依存が進行中→大学入試の「お受験」化 その結果、4万人前後の再受験生の発生(ビデオゲーム「リセット」世代)

私立大学入試都市部への集中と地元志向



大学	グループ	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	志願者 指数
早稲田大	・慶應義塾大	178,565	171,055	163,775	160,346	151,792	149,553	147,822	146,846	152,836	104
上智大・	東京理科大	74,655	75,202	75,030	75,576	77,941	79,389	82,047	83,848	79,152	94
GM	ARCH	420,874	418,368	432,560	427,869	421,747	422,525	407,325	407,393	424,224	104
8	東駒専	211,056	220,865	235,987	232,588	223,309	229,818	226,268	240,818	264,728	110
関	関同立	289,493	274,292	263,355	256,476	260,498	266,249	267,233	261,478	265,291	101
産	近甲龍	164,458	165,365	168,204	163,986	160,241	186,009	201,171	209,024	220,784	106
	志願者数	1,339,101	1,325,147	1,338,911	1,316,841	1,295,528	1,333,543	1,331,866	1,349,407	1,407,015	1
主要22大学	志願者数占有率	50.9%	49.6%	48.9%	47.4%	46.5%	44.9%	44.0%	44.2%	44.5%	104
	校数占有率	3.7%	3.7%	3.7%	3.7%	3.6%	3.6%	3.6%	3.6%	3.6%	
スの俳の十学	志願者数	1,291,042	1,345,386	1,399,148	1,459,013	1,491,886	1,633,784	1,696,123	1,702,410	1,756,985	100
その他の大学	校数	569校	573校	575校	577校	583校	584校	581校	585校	585校	103
	志願者数	2,630,143	2,670,533	2,738,059	2,775,854	2,787,414	2,967,327	3,027,989	3,051,817	3,164,000	104
全体	校数	591校	595校	597校	599校	605校	606校	603校	607校	607校	104

[※]全体は2015年度までは文部科学省発表数値、2016年度は駿台推定。主要22大学は駿台集計による数値

- 大学数では4%未満の大学で、約44%の志願者数を集めている→一極集中
- 2008年度をピークに主要大学の占有率がダウン→地元志向(都市部に出ない)

[※]大学数は、文部科学省「文部科学統計要覧」による数値

安易な妥協・不本意入学者の増加



■4万人に達する再受験生?

直面する「困難」から「楽な方向」に逃げて、 結局は「大きな回り道」をしていることのムダ!!

■大学・短大志願状況 (※文部科学省集計データより)										
	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度					
(A)大学·短大志願者数	73.7万人	72.2万人	73.7万人	71.6万人	71.9万人					
(B)大学·短大入学者数	66.1万人	65.2万人	66.3万人	65.4万人	66.2万人					
(C)=(A)-(B)	7.6万人	7.0万人	7.4万人	6.1万人	5.7万人					
■大学入試センター試験志	■大学入試センター試験志願者数(※大学入試センター発表より)									
	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度					
(D)純粋な既卒生志願者数	11.0万人	10.8万人	11.2万人	9.9万人	9.6万人					
(D)-(C)	3.4万人	3.8万人	3.8万人	3.7万人	4.0万人					

49 再受験を考えた生徒からの声



- もっとアカデミックな授業が受けられると思った
- 高校や予備校での授業の方が面白かった
- 周囲が推薦・AO入学者ばかりで疎外感
- 先輩から「就職先はない」と言われた
- 語学の授業はただ訳しているだけ

→それさえもできない周囲の学力の低さにがっかり



- 授業レベル、会話にまったくついていけない
- 学風を知らずに入学し、生活レベルが違いすぎる
- 学部、学科の内容を調べておらず、 希望の勉強ができなかった
- 入学時のまわりの波に乗れず、 そのまま欠席…(大学生活をやり直したい)

自分自身が ついていけない

期待していた

大学像ではない



- 第一志望入学者の獲得
- 第二志望以下の入学者の満足度アップ
- 学力が低い学生へのフォローは当然!!
- 高学力層への対応は出来ているか?
- 「改革」には、一旦休止はない
- 毎年、受験生にアピールできるモノがないと 学生募集は厳しい
- SNSの普及で「悪いこと」の拡散は早いが、 「いいこと」は伝わらない
- 少子化の中、まずはOB・OGの活用がカギ